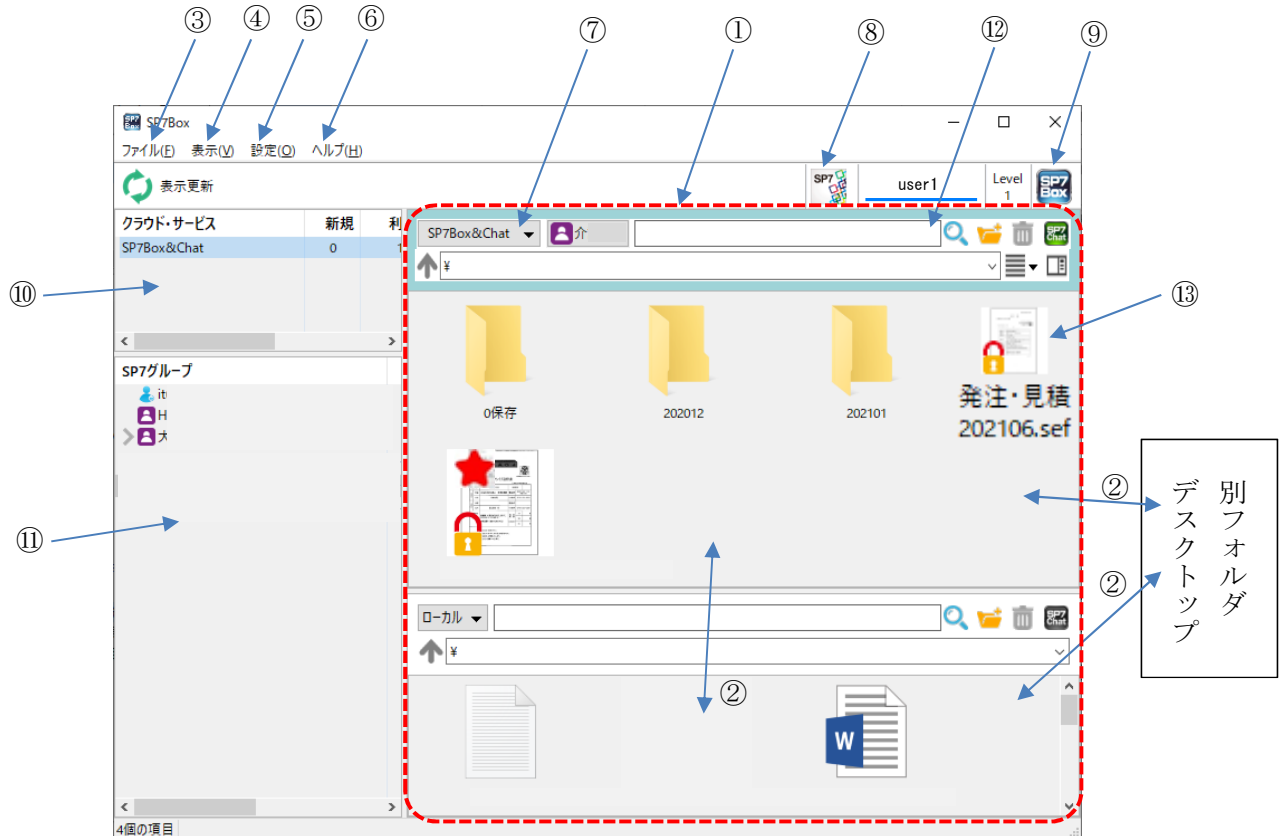



SP7Box は、様々なタイプのファイルをクラウド上の専用の領域に暗号化して保存し、セキュアな情報共有を行うツールです。

同じ SP7 グループのメンバーは、誰でもどこからでも同じようにファイルを利用することができます。

(基本画面)



①SP7 グループ及びローカル(端末機器の内部領域)の内容表示欄

- ・ 使用可能な全ての SP7 グループとローカルから任意に選択した 2 箇所が表示されます。
- ・ 選択されているペインのタイトル部分が青枠で囲われます。このとき別の SP7 グループが左の一覧から選択されると、このペインが切り替わります。
- ・ フォルダを作成し、階層構造でファイルを管理することができます。
- ・ アイコン表示に設定した場合、ファイルはサムネイル表示(可能な場合のみ)されます。
- ・ 自動更新の設定を行うと、他のメンバーによる変更を自動で反映できます。
- ・ アイコン左肩の赤い星印は、未読ファイルを表しています。
- ・ アイコン右肩の  は、SP7Chat ヘリンクしていることを表しています

②ファイルの移動(コピー)

- ・ SP7 グループ間又は他フォルダやデスクトップとの間でファイルをドラッグ&ドロップすることにより移動又はコピーできます。
- ・ SP7 グループへ移動する時は、移動先の SP7 グループの鍵で自動的に暗号化されます。

③ファイル(F)

1) アップロード

選択したローカルのファイルをアップロードします。

2) ダウンロード

選択したファイルをローカルにダウンロードします。

2) 削除

選択したファイルを削除します。

3) フォルダ作成

選択したグループ・フォルダ内に新規のフォルダを作成します。

4) 名前変更

選択したファイル・フォルダの名前を変更します。

5) 親フォルダへ移動

選択したファイルを親フォルダに移動します。

6) 暗号化、復号

選択したファイルを暗号化、復号します。

7) 承認

承認申請されているファイルを承認します。

8) メール送信

メーラーを起動し、選択したファイルを添付します。

9) プロパティ表示

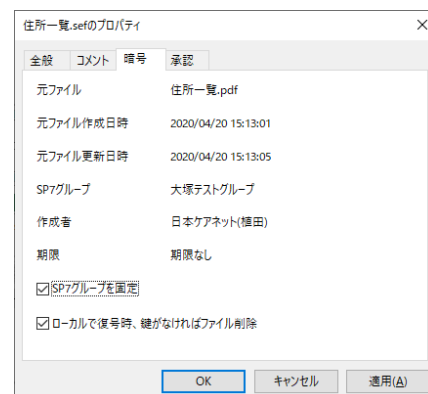
選択したファイル・フォルダのプロパティを表示します。
(ファイルのサイズ、更新日時、コメント、暗号状態、承認状況等が表示されます)

承認作業(下記⑬に説明あり)ができます。

※標準で暗号タブの「SP7グループを固定」にはチェックが入っています。この状態では、他のSP7グループやフォルダにコピーできません。コピーを行う場合はチェックを外して下さい。

10) アプリケーションの終了

・ SP7Box を終了します。



④表示(V)

1) 表示切替

・ アイコン表示、詳細表示等、表示方法の変更をします。

2) 並べ替え(O)

・ 名前順、更新日時順等、表示順序を変更します。

3) 詳細表示項目の設定

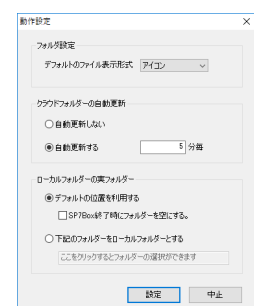
・ 詳細表示時の表示項目を設定します。

- 4) クラウド・サービス表示項目設定
 - ・ SP7Chat 画面左上のクラウド・サービス表示部に表示する項目を設定します。
- 5) SP7 グループ表示項目設定
 - ・ SP7Chat 画面左側の SP7 グループ表示部に表示する項目を設定します。
- 6) 項目チェックボックス
 - ・ ファイルを複数選択する場合に使用します
- 7) ステータスバー
 - ・ SP7Box 画面下部のステータスバーの表示・非表示を設定します。
- 8) 詳細/プレビュー
 - ・ 選択したファイルやフォルダの詳細情報を右側にプレビュー画面で表示します。
フォルダを選択した場合は、中のファイルの情報が表示されます。
クリックで表示の ON/OFF (SP7 グループ単位の設定) を切り替えます。
- 9) 最新の状態に更新 (R)
 - ・ SP7 サーバから、SP7 に関する最新の情報を取り込み反映します。
- 10) 月単位の絞込み表示
 - ・ 選択している SP7 グループで作成月単位ごとにファイルを表示します。
- 11) SP7 グループ詳細表示 (SP7 の⑭詳細と同じ)
- 12) 管理履歴
 - ・ 制限容量の変更などの管理履歴を表示します。

⑤設定 (0)

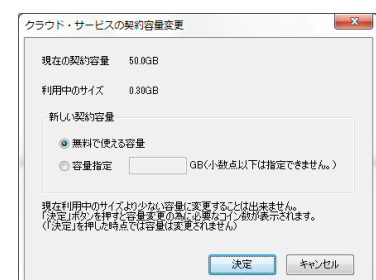
1) 動作設定

- ・ デフォルトのファイル表示形式の設定、他メンバーの操作によりクラウドのフォルダー内の表示が変わったとき自動更新するかどうか (する場合は間隔も) の設定、ローカルフォルダーの実際の保管場所の設定を行います。



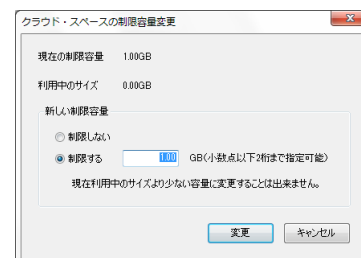
2) クラウド・サービスの設定

- ・ クラウド・サービスの契約容量と契約期限の変更を行います。操作にはコインが必要ですが、内容により必要コイン数は変わります。
契約容量は、SP7Box において、自分が管理者となっている SP7 グループで使用できる容量の合計値です。



3) SP7 グループの設定

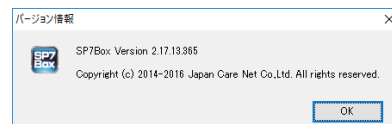
- ・ 任意の SP7 グループにおいて使用できる容量を制限することができます。



⑥ヘルプ (H)

バージョン情報 (A)

- ・ インストールしている SP7Box のバージョンを表示します。



⑦クラウド／ローカル表示切替

- ・ クラウド上の SP7Box 領域と自 PC 内部のローカル領域の表示切替を行います。

⑧SP7 アイコン

- ・ このアイコンをクリックすると、SP7 の画面が前面に表示されます。

⑨SP7Box アイコン

- ・ このアイコンをクリックすると、SP7Box のバージョン情報が表示されます。

⑩クラウド・サービス欄

- ・ 利用できるクラウド・サービスの一覧が表示されます。複数のサーバーを同時に使用する場合に複数のクラウド・サービスが表示されます。
- ・ 新規欄の赤字は、新規（未読）ファイルの数を表しています。
- ・ クラウド・サービスの右クリックで以下の作業ができます。
 - ・ 契約容量の変更
 - ・ 表示項目の設定
 - ・ 管理履歴の表示

⑪SP7 グループ欄

- ・ 選択されているクラウド・サービスで使用できる SP7 グループの一覧が表示されます。
- ・ SP7 グループをクリックすると、右の選択されているペインが切り替わります。
- ・ 新規欄の赤字は、新規（未読）ファイルの数を表しています。
- ・ SP7 グループの右クリックで以下の作業ができます。
 - ・ 未読数を 0 にする（未読が 0 以外のときのみ有効）
 - ・ 表示項目の設定
 - ・ SP7 グループの制限容量の設定（管理者となっている SP7 グループのみ）
 - ・ SP7 グループ詳細表示（SP7 の⑭詳細と同じ）
 - ・ ルートフォルダのプロパティ（使用中のサイズ等の表示）
- ・ SP7 グループの中のフォルダの右クリックで以下の作業ができます。
 - ・ 未読数を 0 にする（未読が 0 以外のときのみ有効）
 - ・ フォルダを削除

- ・フォルダ名の変更
- ・フォルダのプロパティ表示

⑫ファイル検索

- ・右側の検索ボタンをクリックすると、入力された文字列をファイル名に含むファイルが、サブフォルダも含め全て表示されます。
- ・検索ボタンを再度クリックすると絞り込み状態が解除されます。

⑬ファイルの操作

- ・ファイルを右クリックすると以下の操作ができます。
開く（実行）、表示形式、表示順、最新状態に更新、新着マークのクリア、ダウンロード（アップロード）、クラウド間コピー、親フォルダへの移動、削除、フォルダ作成、ファイル名変更、メール添付、SP7Chat にリンク、ファイルを申請、プロパティ表示

※承認申請作業手順

- 1) 申請者がファイルを右クリックし、「ファイルを申請」を選択
- 2) ファイルが申請中モードになる（表示は何も変わりません）
- 3) 承認者が当該ファイルを選択
- 4) 承認者が上部の「ファイル」をクリックし、「ファイルを承認」を選択